

関常幸 議会報告

第30号
2013. 4

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



生活に直撃するTPPを考える！

2013年2月23日、安倍首相は「聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」と表明し、翌月3月15日にはTPP交渉への参加を正式に表明し、これからの交渉に全国民の関心が集まっている。

様々な主張や意見・賛成・反論・異論があり、以下のようなメリット・デメリットが生じると推測される。特に問題点で記したISD条項等はTPPにセットされているもので問題だ。

- メリット**
- ・関税の撤廃により貿易の自由化が進み日本製品の輸出額が増大する。
 - ・大企業にとっては企業内貿易が効率化し利益が増える。
 - ・米や牛肉は安くなり、又は輸入品との価格競争で消費者は利益をこうむる。

- デメリット**
- ・輸入品との安売り価格競争でデフレを引き起こす可能性がある。
 - ・米国などから安い農作物（特に米）が流入し、日本の農業は大きなダメージを受ける。
 - ・食品添加物や残留農薬などの規制緩和により、食の安全が脅かされる。
 - ・混合診療の解禁により、国民皆保険制度の崩壊の心配や医療格差が広がる。

- 問題点**
- ★**ISD条項**～日本では「毒条約」ともいわれ、外国企業が不利益を受けた場合、その企業は、世界銀行傘下の裁判所に提訴することが可能で、提訴された国は負けることがほとんどで、法外な賠償金を請求されるか、法律改正を迫られる。とんでもない条項だ。
 - ★**ラチェット規定**～日本に、遺伝子組み換え作物・例えば大豆等が、一端輸入されるといくら消費者の反対運動があっても取り消すことができない。とんでもない規定だ。
 - ★**途中離脱**～TPPのルール上、離脱はいつでも可能とされるが、実際には海外企業からの莫大な損害賠償請求が予想されTPP離脱は極めて困難だ。

- 参加国**
- ・加盟国～シンガポール、ニュージーランド、ブルネイ、チリ
 - ・加盟交渉国～アメリカ、オーストラリア、ベトナム、ペルー、マレーシア、カナダ(2012年11月に)メキシコ(2012年11月に)

遅く加盟したカナダ・メキシコは自国の要望はほとんど受け入れてもらえないなど、多くの問題点を抱えているTPP。何故そう急ぐのか、安倍首相はアベノミクス・経済成長戦略を押し進めるためのようだが、一昨年来日したブータン国王の国会での演説を思いだしてもらいたい。「お金では幸せは得られない。“幸福度”世界一を目指す」と、ブータンから学んでもらいたい……。



自民党は先の衆議院選挙で、TPPに関し6項目の公約(①米等は関税撤廃の例外②食の安全を守る③国民皆保険を守る④自動車等の数値目標は撤廃⑤ISD条項に合意しない⑥金融サービス等我が国の特性を踏まえる。)を掲げ選挙で勝利した。

この約束が守れないようであれば、TPP参加交渉から離脱しなければいけない。

一般質問(3月13日)

●TPPIについて

今日の日本の発展があるのも一にも二にも、自由貿易のおかげであり、これからも自由貿易が日本の繁栄のために不可欠である。

しかし、コメ作りと農業の将来を考えたとき、TPPは農業の根底を揺るがす大きな問題だ。TPPの有りようによっては、日本農業の将来はない。コメは90%が輸入米に置き換わり田んぼが日本からなくなる。

政府はTPPに参加した場合のメリットやデメリットに関する新たな試算やTPPの内容も不透明のところが多い。ゆえに、自民党議員の半数以上が、TPP交渉に慎重な対応を求めている。

選挙公約である「関税でコメの例外扱い」が確約されない限り、安倍首相は拙速に参加の是非を判断すべきでないと思うが市長の見解を伺う。

<市長>

アメリカと日本の両首脳の間で「コメの関税撤廃の例外は確保できた」。そして、先のTPP参加断固反対のJA大会で自民党の石破幹事長は「農業は守る」と断言した。それらことから、TPPへの参加はすべし。交渉の過程で国益にかなわなければ脱退すればいい。しかし、100%そうだという事ではないので、国の対応を注意深く見守る。

●JA合併について

日本一のトップブランド・魚沼コシヒカリの産地として、同一市内に二通りの生産技術、販売戦略があってもいいはずはない。農業情勢は、TPPに代表されるように、内外ともに厳しさを増している。魚沼コシヒカリ

を核として、さらなる発展、産地の強固な地盤確保のために2JAの合併は必要だが。

<市長>

4JA合併の破綻から十数年経っており、当時の経済環境や役員体制も変わっており、積極的に働きかけを行う。そのことが、日本一のブランド・魚沼コシヒカリを核とした農業振興に、南魚沼市の発展につながる。

●米の品質向上について

24年産米の1等米は個体検査で42%、カントリーを合算して62%、本当に品質は悪い。こんなに品質が悪いのは、過去に経験したことがない。

この現状に行政も農協も農家も、トップブランド日本一のコシヒカリ産地としての危機意識が見えない。そして、品質低下の問題意識も低い。まさに魚沼コシヒカリは「崖っぷち」だが、見解を伺う。

<市長>

北海道をはじめ非常に熱心に取り組んでいる。このままいけばトップの座も危うい。24年産米の二の舞を踏まないように全力で取り組む。

●中学生の学力向上について

生徒一人一人の学力向上のために、様々な取り組みを行っているが、標準学力調査結果は全国や新潟県を下回っている。なかなか結果がつかない。子どもたちの将来の夢の実現のために学力の向上は不可欠だ。

<教育長>

良い中学校の事例から、学力を上げるためには、①子供たちが学校で安定する状況を作る。②授業の質を上げていく。③家庭学習の時間を増やす。④学力に向かう一体とした教師のチームワーク。

トピックス

1/27 長島代議士新春の集い



2/3 第45回自民党定期大会

2/14 白山神社春祭り



2/23 大祭に餅奉納

3月議会概要(4日~21日)

★ 市長所信表明



- ・ 検診および保健指導の充実による生活習慣病等の予防やがんの早期発見。
- ・ 予防接種事業及び母子保健事業の充実。不妊治療や妊婦検診への助成継続
- ・ 私立「むいかまちこども園」が4月1日に開園。
- ・ 4月10日に市立総合支援学校の開校式および入学式。
- ・ 城内、大巻、五十沢3中学校の統合について4月から地区民への説明会。
- ・ 昨年の猛暑対策として、3年計画で全小中学校の普通教室に扇風機を設置
- ・ 太陽光発電システム設置費補助金制度を創設。
- ・ 基幹病院、新市立病院に合わせ、六日町、浦佐バイパス、八箇峠の早期開通。
- ・ 地域経済活性化のために引き続き「リフォーム事業」を実施。
- ・ 水道施設の適正規模化、緊急・非常用の水源確保等「水道ビジョン」の見直し。
- ・ 生ごみ処理の一手法として、ディスポーザーの使用を浦佐地区で先行実施。
- ・ 豪雨災害による農林施設災害復旧は、25年度中に完了。
- ・ 「南魚沼きりざい井」など食によるまちおこし、イベント・誘客。
- ・ 職員給与、および退職手当の削減については、国の動向や全国市長会の動向を勘案しながら判断。

<平成25年度一般会計予算は309億300万円>

(主な費目なので100%にならない)

歳 入	・ 市税	72.6 億円(23.5%)	歳 出	・ 人件費	53.6 億円(17.4%)
	・ 地方交付税	103.5 億円(33.5%)		・ 物件、維持補修費	51.4 億円(16.7%)
	・ 国県支出金	38.8 億円(12.6%)		・ 扶助、補助費	63.8 億円(20.7%)
	・ 市債	41.2 億円(13.7%)		・ 建設事業費	47.5 億円(15.4%)
(自主財源 37.1%、依存財源 62.9%)				・ 公債費	42.6 億円(13.8%)

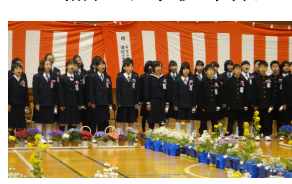
★重点施策の概要

- <子育て支援>
 - ・ 病児（萌気浦佐診療所）病後児（野の百合保育園）保育の実施 715 万円
 - ・ 蕨神小学校内に学童クラブ施設新設 1,115 万円
- <保険医療福祉>
 - ・ 新市立(六日町)病院の建設 87,500 万円
 - ・ 老人ホーム魚沼荘改築（用地取得、実施設計、建設は 26.27 年度） 10,208 万円
 - ・ 予防対策事業(子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種に助成) 17,558 万円
 - ・ 後期高齢者事業(肺炎球菌ワクチン接種と人間ドックに助成) 750 万円
- <教育文化スポーツ>
 - ・ 図書館建設（六日町駅前ララ内に） 81,750 万円
 - ・ 大原運動公園整備（野球場 25 年度、多目的グラウンド 26 年度完成） 75,800 万円
 - ・ 小学校大規模改修(赤石は改修、浦佐・大崎は実施設計) 5,770 万円
- <産業振興・防災>
 - ・ 農地集積（人・農地プランの推進） 3,080 万円
 - ・ 緊急時情報伝達アンテナ整備（浦佐地区FMゆきぐに難聴解消） 2,300 万円

3/5 大和中学校卒業式



3/22 浦佐小学校卒業式



3/10 八色の森公園子ども雪まつり



3/26~28 ノルウエーから



かわら版(ミニ情報)



★関常幸後援会新春の集い(1月20日)

北村洋成後援会長が挨拶で、「今秋行われる市議会選挙に三度挑戦するので更なる支援の輪を」と、お願いする。続いて井口市長、長島忠美小島秘書の挨拶。

私から、市政報告と10月に執行される市議会選挙への立候補の決意を話す。



二部の懇親会は、阿部議長の乾杯で始まる。そして、マジックショーや踊りが新春の集いに花を添える。100人を超える大勢の皆さんが参加してくれる。感謝です。

★毘沙門様千年のまちづくりワークショップ開催

今まで3期にわたりワークショップを開催してきた。その成果は、さまざまな地域活動やグループ活動を創出し「薬師様、秋葉様、観音様等里山の整備活動のグループ」や「おせったいの会」「梵鐘の会」「びしゃもん市」などとなって表れている。

まちづくりは時間を要し、まだまだ課題も山積している。今回開催した第4期のワークショップは、今までの活動実績を踏まえ、これからの具体的施策について話し合った。

会場は「お国じまん会館」3階で、6グループ(5~6人)に分かれて話し合う。

- ①西山に人を迎え入れるためには ②毘沙門通りの夜の景観づくり ③びしゃもん食の創出
④毘沙門通りと周辺のまち並み景観 ⑤おせったいと情報発信 ⑥地産地消と特産品づくり



羽賀会長挨拶



第1回 1月28日



第2回 2月12日



第3回 3月6日

★やまと病院のあり方について住民説明会開催(3/20 浦佐・菟神、3/24 大崎・東)

魚沼基幹病院は大和病院駐車場に昨年からの建設が始まりその姿を見せてきた。新六日町病院も平成27年4~6月の開院をめざしこの秋から工事が始まる。

大和病院は診療所になる…?今かかっている病気は大和病院でできるが、場所はどこに建設…?大和病院は六日町に吸収される…?大和病院は本当に建設されるの……?等々の不安や声が大きくなり、その不安解消と25年度中に大和病院の方針を出したいということから今回の説明会になる。

浦佐会場は、およそ100名、三地区は40~50名くらいの参加。病院からは宮永院長、松島副院長、米山事務長、行政からは医療対策室が出席。



菟神会場まほろ

編集後記

★祭りもク

ライマックスの22時、押合に参加した人が行方不明の連絡。待ち合わせの20時になっても来なく、友達や警察は川や辺りの捜索に入っている…。寺に对策本部設置の準備をする。何のことはない、熱中し時間も忘れ、堂内で押していた。



★三月十二日、朝六時親戚が集まり、山の神様に向かって「天頂ぐり山ぐり、カラスの目ん玉ストントンのトーン」と言って矢を放つ。豊作を願って。



★三月二十四日、町内の決算常会で市政報告の後に、十月に行われる市議会選挙に「大和病院の方向付けを」そのために立候補すると表明をする。
★春らしくなまってまいりましたが、まだまだ寒い日があります。健康にご留意下さい。